

## 新型インフルエンザ

近年、鳥インフルエンザ（H5N1）が鳥から人に感染する事例が数多く報告されており、昨年12月からその感染例が広がっています。インドネシア、ベトナムなどで感染による死者が新たに報告され、エジプトでは1週間で4人が死亡。またパキスタンでは、人から人に感染した疑いも出ているなど、この鳥インフルエンザのウイルスが変異し、新型インフルエンザとして、いつ発生してもおかしくない状況であると言われていています。

2003年11月以降からWHOが確認している鳥インフルエンザ（H5N1）発症者数は、2008年3月18日現在で373人、うち死亡者は236人で死亡率63%とかなり高い確率となっています。

新型インフルエンザとは、人類のほとんどが免疫を持っていないために、容易に人から人へ感染するものであり、世界的な大流行（パンデミック）が引き起こされ、大きな健康被害とこれに伴う社会的影響が懸念されるものです。

政府は新型インフルエンザの発生に備えワクチンの備蓄や自治体の訓練など、対策はとられていますが、国家の安全保障レベルで対応している国と比べるとまだまだ不十分との声もあります。新型インフルエンザ発生時に、感染の広がりを抑え、被害をできる限り小さくするために、国や自治体における対策はもちろんのこと、一人一人が必要な準備を進め、実際に発生した際は適切に対応していくことが大切です。

### 症状は？

新型インフルエンザに変異することが懸念されている高病原性鳥インフルエンザの症状としては、これまで東南アジアなどでの事例では、発熱・咳など、ヒトの一般的なインフルエンザと同様の症状に加え、下痢を認めた例もあったようです。また、致死率は60%以上と極めて高く、肺炎が主な死因となっています。

しかし、高病原性鳥インフルエンザウイルスが人から人へ感染する新型インフルエンザウイルスに変異した場合、その症状の程度は現在のところ予測が困難ということです。

### もし罹ったら？

発熱・咳・全身痛などインフルエンザと思われる症状がある場合、事前の連絡をせずに近くの医療機関を受診すると、もしも新型インフルエンザであった場合、待合室等で他の患者さんに感染させてしまう「二次感染」の恐れがあります。まず、保健所等に設置される予定の発熱相談センターに連絡し、都道府県等が指定する医療機関など（発熱外来）を受診して下さい。また、当健康管理センターへの連絡もお願いします。

### 予防は？

- ① 流行地への渡航、人混みや繁華街への外出を控える。
- ② 外出時にはマスクを着用し、外出後は手洗いとうがいをする。
- ③ 体力や抵抗力を高めるために、栄養バランスの良い食事と十分な休養をとる。
- ④ 野鳥には近づかない、死んだ野鳥には触れない。
- ⑤ 発生に備えて、食料や日用品の備蓄（約2週間分）をしておく。

\* 新型インフルエンザに関する詳しい情報は、下記ホームページを参考に、各自でも情報収集に努めて下さい。

政府公報オンライン

[http://www.gov-online.go.jp/pr/media/tv/doipn/movie/20080103\\_f300.html](http://www.gov-online.go.jp/pr/media/tv/doipn/movie/20080103_f300.html)

厚生労働省（新型インフルエンザ）

<http://www-bm.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>

文部科学省（新型インフルエンザ）

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/17/11/05112500.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/11/05112500.htm)

国立感染症研究所 感染症情報センター

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

以上